

整理番号	HT29170	分野	数学・物理	キーワード	数学的モデリング
------	---------	----	-------	-------	----------

研究機関名	国立大学法人 岐阜大学				
プログラム名	数学的モデリングチャレンジ岐阜 2017 –データから身の回りを探究するイノベーション！–				
先生(代表者)	河崎 哲嗣(かわさき てつし)教育学部・准教授				
自己紹介	<p>専門は、人間科学と数学教育です。学生の頃に、琵琶湖上のボートに72時間連続で定点観測をした強烈な経験が、数学と科学・生活との接点の教材研究をする「気概」へと変化したのかもしれない。趣味は、ものづくり・海外旅行・野球です。(研究の世界に入らなければ、高校野球の指導者のままでした)</p>				
開催日時・募集対象	平成29年8月19日(土)	受講対象者	小学 5,6 年生 中学 1 年生	募集人数	
集合場所・時間	岐阜大学サテライトキャンパス		(集合時間)	12:00	
開催会場	岐阜大学サテライトキャンパス 住所: 〒500-8844 岐阜市吉野町 6 丁目 31 番地 岐阜スカイウイング 37 東棟 4 階 アクセスマップ URL: http://www1.gifu-u.ac.jp/~gifu_sc/src/access.html				
内 容					
<p>『このグラフってどんな動きをすれば表せるのだろうか』『歩きながらうまく相手にパスするにはどんな動きをしたら良いの?』とか考えたことはありませんか? 特に気づかなかった現象から、ともに変わる数量データを抽出してみましょう。それらのデータを分析してみると、高度な数学の知識を使わなくても、カラー液晶関数グラフ電卓を用いて分析すれば、納得することができるかも知れません。今回は、『距離センサー』を内蔵した機器を採り入れた数値データを測定します。一体どんな動きをした現象なのか、隠された速さの秘密も、3~4人のお友達と協働で考えます。7月1日(土)10:00~13:00同一会場の予定で、カラー液晶関数グラフ電卓とセンサー活用講習会を開きます。受講生の皆さんも参加してください。</p> <p>【詳細な案内ちらし】 http://www2.hamajima.co.jp/~mathenet/hiratoki/gazo/29/2017chirashi.pdf</p>					
スケジュール			持 ち 物		
小学生と中学生で実習内容を変え、3~4人のチームで実験をします。 12:00~12:30 受付, 12:30~ 開講の挨拶(オリエンテーション・科研費の解説・スタッフ紹介) 12:35~13:10 ミニ講義『データを使って、賢くイノベーション!』:河崎 13:20~15:10 簡易レクチャー:「共に変化するデータを見つけよう!」, 実験1「はやさを表すデータで表現」, 実験2「相対する速度とその動作を表現しよう」…中学生対象(小学生は希望制) ※時間内に5~10分間の休憩を1回実施します。 15:10~15:40 クッキータイム(お茶・お菓子) –「発表者会議」– 15:50~16:30 グループ発表, 16:30~16:45 休憩及び審査時間 16:45~17:00 講評, 17:00~17:30 修了式(アンケート記入、未来博士号授与), 17:30 解散			筆記用具, はさみ, のり (念のため)三角定規, 分度器, コンパス, 色鉛筆, 色ボールペン		
			特 記 事 項		
			保護者同伴での受講はできませんが、見学は可能です。 7月1日(土)の講習後に、受講生全員に関数グラフ電卓の貸し出しを予定します。夏休みを楽しんでください。		

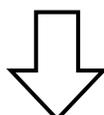
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	岐阜大学教育学部・河崎 哲嗣
住所：	〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1
TEL 番号：	058-293-2351(教育学部総務係)
FAX 番号：	058-293-2207
E-mail：	gjed00005@jim.gifu-u.ac.jp
申込締切日：	平成29年6月28日(水)

※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行い、6月30日(金)までに郵便(またはメール)にて全員にご連絡します。

《プログラムと関係する先生(代表者)の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
河崎哲嗣	H27-29	基盤研究(C)	15K01063	グローバルな算数・数学教員養成を目指す遠隔協同セミナーの研究
河崎哲嗣	H23-25	基盤研究(C)	23501187	小学校教員を志す文系大学生を対象とした数学的モデリング授業の開発研究
河崎哲嗣	H19	奨励研究	19911012	中高及び高大接続を意識した特設単元における科学・技術の融合教材の開発研究



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。